

令和6年度第三者評価 改善状況報告書

令和 7年 5月 26日

施設名	芝地区いきいきプラザ	施設所管課	芝地区総合支所管理課
所在地	三田いきいきプラザ 港区芝4-1-17 神明いきいきプラザ 港区浜松町1-6-7 虎ノ門いきいきプラザ 港区虎ノ門1-21-10	指定管理者	医療法人財団 百葉の会

改善すべき指摘内容等	対応事業者 (共同事業者の場合記入)	令和7年3月までの改善状況等 (指定管理者記入欄)	令和7年4月以降の取組予定 (指定管理者記入欄)	所管課確認欄 (施設所管課記入欄)
地域交流においてコロナ禍の影響で住民や関係機関との関係性が希薄になった部分が見られる。このため、地域とのつながりを再構築するための積極的な取り組みが必要である。	医療法人財団百葉の会	地域のサロン活動やマンションまで出張講座を行い、健康寿命の延伸をテーマとした内容を中心に提供し、いきいきプラザの周知も同時に行っている。地域の関係機関である警察に来館していただき、交通安全や詐欺等の犯罪防止の啓発を実施してもらっている。防災連合や町内会の防災イベントへ参加している。	交通安全週間の際に所管の警察の方々に来ていただき、交通安全の啓発を実施していただいている。サロン活動への出張講座も継続する予定。保育施設等の子供たちに来館してもらい、世代間交流を図れるイベントを実施する予定。	令和6年度は放課G0→に通う児童との共同事業を実施し、幅広い年代との交流に取り組んでいた。今後も近隣の学校や保育園などと連携し、地域とのつながりを再構築できるよう指導していく。
長年利用している方々が高齢化しており、かつて50～60代だった利用者が現在では70～80代に移行している。このため、より幅広い年齢層に対応するための取り組みが必要である。	医療法人財団百葉の会	今まで利用されている方々の人気のある講座は維持しつつ、50代からでも楽しめるソウルディスコやヒップホップダンス、強度の高い運動講座、ヴァイオリン講座、モダンバレエ等を実施。広報でもLINEを利用して今までにない層への周知活動も行った。	積極的にLINE広報を利用し、周知の幅を広げていく。運動講座も引き続き強度の高い内容から、リラクゼーションを図れるプログラムを幅広く提供していく。また、楽器を使った講座やeスポーツなど新しい要素を含めた講座を展開していく。	LINE広報を通じて、他地区のいきいきプラザに通う利用者の獲得や、40代や50代といった世代の方々にいきいきプラザへの関心を持たせることが出来ている。引き続き、幅広い年齢層に関心を持ってもらえる取り組みを所管課としても後押ししていく。